

読んでごらん
おとしりいよ



2017

図書目録「読んでごらんおもしろいよ」2017(52号)をおくります。

このなかにある本のほかにも、おもしろい本、楽しい本が、たくさんあると思いますが、みなさんがどんな本を読もうかなとまよったとき、この目録を役立ててください。

これらの本は市立図書館や、みなさんの学校図書館にもあります。

この目録を利用するために

1. 平成28年(2016年)に発行された本の中から、絵本と読みものを中心に75点選んでいます。
2. 配列は対象別に、書名の50音順になっています。
3. 対象別にわけてありますが、これは**めやす**です。
4. 目録は書名・著者・出版社・頁数・大きさ・本体価格の順に書いてあります。
5. 本体価格は平成28年(2016年)12月現在のものです。

(5) おたからパン

真珠まりこ 作・絵

ひさかたチャイルド 32P 26×22cm 1,200円〔創作絵本〕

「おたからパン」というなまえのパンやさんに、はいったどろぼう。たからをさがしていると、みせのおやかたにみつかった。おやかたは「たからがほしいならここではたらげばいい。」という。どろぼうはパンやさんではたらくことにしたが……。

(6) かあさんのまほうのかばん

よこみちけいこ 文 なかざわくみこ 絵

童心社 32P 27×20cm 1,400円〔創作絵本〕

かあさん、いっつもおおにもつ。おでかけのときはまほうのかばんをもっていく。「まほうってなに？」かばんからでてくるものはもうとのまこのものばかり。なーんや、ぼくのもん、はいってないんや。あれは、まこのまほうのかばんなんや。

(7) くだものいっぱい！おいしいジャム

石澤清美 監修・料理 田村孝介 写真

ひさかたチャイルド 28P 21×24cm 1,300円〔写真絵本〕

いちごジャムってなにからできているのかしてる？つくるところをみてみよう。ざいりょうはいちごとさとう。たったこれだけでほんとうにおいしいジャムができるのかな？まずはいちごにさとうをまぶして、おいておくよ。1じかんたったら……。

(8) げっ 月きゅうでん

桂文我 文 スズキコージ 絵

小学館 27P 27×22cm 1,300円〔創作絵本〕

さだきちが^{おお}大きいうなぎをつりあげた。これがなんとおばけうなぎ。キリキリとまきつかれ、おばけうなぎと^{おおぞら}大空へとんだ。ついたのはふしぎなところ。むこうから、まっかなからだに^おつのはやしたやつがきた。「あれは、おにだ。ああ、こわい！」

(9) さきちゃんのくつ

そうまこうへい 作 まるやまあやこ 絵

フレーベル館 32P 27×21cm 1,200円〔創作絵本〕

いままではいていたうさちゃんのかざりのついたくつ。かってもらったばかりのあたらしくつとならべると、よごれがめだってかわいそうにみえる。おかあさんはわたしのうさちゃんのくつ、どうするんだろう。もしかして、すてちゃうの？

(10) シラユキさんとあみあみモンスター

アンネマリー・ファン・ハーリンゲン 作 野坂悦子 訳
BL出版 25P 29×25cm 1,400円〔創作絵本〕

「あんたのあみものはいいかげん。がらくたしかできっこないよ」ヒツジおばさんが、めえめえいってるよこで、ヤギのシラユキさんはむちゅうでけいとをあみつづけた。できた！さいごまであみおえると……あみぼうからオオカミがとびだした。

(11) またおこられてん

小西貴土 作 石川えりこ 絵
童心社 32P 21×23cm 1,300円〔創作絵本〕

なあとうちゃん、ぼくな、またかあちゃんにおこられてん。「もうあんたのおかあちゃんやめさせてもらいますっ！」ていうとった。ほんまやろか。かあちゃん、おこりんぼマシーンみたいや。ぼくのこときらいになってしもうたんかなあ。

(12) マダム・ミャーゴのひみつのいえ

青山邦彦 作・絵
フレーベル館 34P 31×22cm 1,300円〔創作絵本〕

ねこのマダム・ミャーゴのかくれがには、おりからにげだしたどうぶつたちがやってくる。ふるさとかえりたいうどうぶつたち。マダムのひみつのいえづくりをてつだうことになったが、できあがってきたのはやねだらけのおかしないえ。

(13) みかんのめいさんち

平田昌広 作 平田景 絵
鈴木出版 24P 21×28cm 1,300円〔創作絵本〕

しんせきのおじさんからみかんがとどいた。おじさんちはみかんのめいさんち。「みかんのめいさんちってまちじゅうみかんでいっばいな？じゃあさ、きつとこなかんじだよ……」。えんバスはみかんごう。すいどうからはみかんジュース……。

(14) ゆきのしたのおともだち

ばんたくま 作
くもん出版 32P 22×30cm 1,300円〔創作絵本〕

ゆきのしたにいっぴきのウサギ。「こんなゆきじゃだれもあそびにこないしな」そのとき、「おっと、ごめんよ！」と、モグラがあらわれた。「モグラくんはいいなあ。あなをほれば、みんなとあえるのだからね」「いっしょにあなをほればいいのさ」。

(19) ガストン

ケリー・ディプッチオ 文 クリスチャン・ロビンソン 絵 木坂涼 訳
講談社 34P 30×24cm 1,600円〔絵本〕

ガストンは、プードルかあさんのじまんのこども。でもほかのきょうだいとは、ちがうことばかり。あるひ、ガストンはじぶん^{おとこ}にそっくりなブルドッグのかぞくにであった。そこには、いっぴきだけプードルかあさんにそっくりながいて……。

(20) カレー男^{おとこ}がやってきた！

赤羽じゅんこ 作 岡本順 絵
講談社 79P 22cm 1,200円〔日本文学〕

「その男^{おとこ}は、カレーのにおいにさそわれてやってきたんだ。」みんな、田口^{たくち}くんの話^{はなし}にむちゅうだ。白いターバン、スパイスのびんのネックレス。「カレーを一ぱい、いただけないか？」とおじぎをするんだって。いいな。うちにもきてほしい。

(21) きつねみちは、天^{あめ}のみち

あまんきみこ 作 松成真理子 絵
童心社 41P 21×23cm 1,400円〔絵本〕

ずぶぬれで、雨の中をはしってたら、へんてこな雨のすきまにでた。とてもおもそうなものを、はこんでいるこえ。そこにかさをもたずにたったら、とってもちっちゃいきつねの子^こが、はなしかけてきた。「ここをもちなよ、きょうだい」って。

(22) せなかのともだち

萩原弓佳 作 洞野志保 絵
PHP研究所 79P 22cm 1,100円〔日本文学〕

おこりんぼうのハリネズミが、がけからおちたのは、いじのわるいヒツジのせなかの上^{うへ}。「おりろ」「おろせ」と言いあらそっても、ふたりはからまりあうだけで自分^{じぶん}たちでは引き^ひはなせない。だれかにとってもらおうとするけれど……。

(23) てのりにんじゃ

山田マチ 作 北村裕花 絵
ひさかたチャイルド 32P 28×22cm 1,300円〔絵本〕

てのりにんじゃはちいさいにんじゃ。あしおとをたてずにしのびあしではしる。おだんごをあげて、いっしょにしゅぎょうをすると、にんぼうをつかってあそんでくれるようになる。たとえばかくれんぼでは「ぶんしん&かくれみのじゅつ！」

(24) ドアのノブさん

大久保雨咲 作 ニシワキタダシ 絵
講談社 111P 21cm 1,400円〔日本文学〕

ノブさんは、アパートのドアの取っ手。ひっこしをする山下さん家族といっしょに、新しい家へひっこすのだと信じていたのに。山下さんは、ドアにかぎをかけて行ってしまった。あわてて、ドアごと追いかけてやろうとしたけれど……。

(25) なかよしおまもり、きいた？

松井ラフ 作 狩野富貴子 絵
PHP研究所 79P 22cm 1,100円〔日本文学〕

わたし、かれんちゃんのいちばんのなかよしになりたい。でも、学校へくるのも、トイレに行くのも、かれんちゃんのとにはいつもまゆちゃんがいる。かれんちゃんがくれた三人のなかよしおまもり。ふたりのだったらよかったのにな。

(26) ペンギンかぞくとおそろしい山

藤原幸一 著
アリス館 37P 29×24cm 1,400円〔絵本〕

ペンギンたちが「希望の入り江」にもどってきた。こどもたちのごはんをさがしに海にでかけたおとうさん。とちゅう、とがったてつのかたまりや、はりがねがとびだすきけんな山をとおらなければいけない。足をとられたおとうさんは……。

(27) まいごのアローおうちにかえる

竹下文子 作 藤原ヒロコ 絵
佼成出版社 64P 20cm 1,200円〔日本文学〕

ユウくんとあそびにきた公園でまいごになってしまった、おもちゃのきょうりゅうのアロー。「ユウくん、むかえにきてくれないのかなあ。はやくかえらなくっちゃ。」ととことこ、とことこ、せいっぱいのはやさでかけたしたけれど……。

(28) 耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ

ナンシー・チャーニン 文 ジェズ・ツヤ 絵 齊藤洋 訳
光村教育図書 32P 26×21cm 1,400円〔絵本〕

投げてよし、打てはホームラン級の野球選手ウィリアム。しかし、耳の聞こえないウィリアムは、自分が三振したことに気づかず大わらいさけてしまう。おちこんだウィリアムは考えた。聞こえなくても、審判の判定を知る方法はきっとある。

(33) **アマミホシゾラフグ 海のミステリーサークルのなぞ**

江口絵理 ぶん 大方洋二 シャしん 友永たろ え

ほるぷ出版 32P 21×23cm 1,300円〔フグ〕

あまみおしま うみ なか
奄美大島の海の中。にぎわうサンゴ礁のさきに、見たことのないものが！直径
2メートルほどもあるまるい形の、なぞめいたもよう。海の底の「ミステリーサー
クル」！いったいだれがつくったの？人間かな。それとも、宇宙人のいたずら？

(34) **おにぼう**

くすのきしげのり 作 伊藤秀男 絵

PHP研究所 95P 22cm 1,200円〔日本文学〕

ははおに ひとり
母鬼を人間にうたれ一人ぼっちになったおにぼう。「人間をうらんではいけないよ」という母鬼の言葉をまもり、村の子どもとなかよくしていた。でも「鬼は悪さをするって、むかしから決まったもんだ」と大人たちにひきはなされて……。

(35) **オバケ屋敷にお引っ越し スギナ屋敷のオバケさん**

富安陽子 作 たしろちさと 絵

ひさかたチャイルド 120P 22cm 1,300円〔日本文学〕

キッチンに置き去りにされている大鍋が気になったけど、スギナ屋敷を気に入
り、買うことにしたオバケさん。引っ越しの日、よそ者が入りこんだことで、カン
カンになった屋敷守オバケが、いやがらせを始めた。屋敷守オバケの正体とは……。

(36) **逆転！ドッジボール**

三輪裕子 作 石山さやか 絵

あかね書房 157P 21cm 1,100円〔日本文学〕

四年生になって、ずっと宿敵だった鉄平とおなじクラスになった。鉄平は絶対に
ボールをかたづけない、人に命令する、いやがる友だちの物をとって投げ合う、ど
ろだらけのボールをわざとあてる……ぼくはもう二度とドッジボールはしない！！

(37) **警察犬になったアンズ 命を救われたトイプードルの物語**

鈴木博房 著

岩崎書店 143P 22cm 1,300円〔警察犬〕

「この犬、もういません。」殺処分を待つトイプードルの子犬は、あきらめたか
のようにじっとしている。「その犬をわたしにゆずってください。」鈴木家にやって
きたその犬は、アンズと名づけられ、3頭の警察犬シェパードとすずすことに……。

(38) 三年三組黒板の花太郎さん

草野あきこ 作 北村裕花 絵
岩崎書店 100P 22cm 1,200円〔日本文学〕

「三年三組には、黒板の花太郎さんっていう妖怪が出るんだって」朝みんなが登校してくる前に黒板から出てきて、クラスの仲間にくわわるらしい。拓真と加奈は一番に登校し、うわさをたしかめることにした。いきなりあらわれたのは……。

(39) シナモンのおやすみ日記

小手鞠るい 作 北見葉胡 絵
講談社 94P 20cm 1,200円〔日本文学〕

ページをめくるたび、すみっこに、ねこのシナモンとそのガールフレンドが つぎつぎに出てくるノートに、日記をつけ始めたなつみ。日記だけど、シナモンへの手紙。ある日、信じられないことが。シナモンから返事がとどいたのだ。

(40) ねこの看護師ラディ

洲上サトリーノ 文 上杉忠弘 絵
講談社 32P 27cm 1,500円〔絵本〕

あたらしいかんじゃは、車にはねられてなん日もそのままだったいぬ。ラディは、いぬにぴったりとよりそい、だきしめた。ラディはふしぎなねこ。病気をなおせるわけではないが、そばにいただけで、おだやかな空気が動物たちをつつむ。

(41) ねこまつりのしょうたいじょう

いとうみく 作 鈴木まもる 絵
金の星社 176P 20cm 1,300円〔日本文学〕

「やった！あたって」ぼくは、残りのアイスをおしこんで、ベロツと棒をなめた。『アタリ ネコゾク ネコマツリ ゴショウタイ』なんなんだ、このあたり棒。ねこぞくってなんだろう。ねこまつりって、どんなおまつり？気になる。

(42) まんぷく寺でまっています

高田由紀子 作 木村いこ 絵
ポプラ社 167P 21cm 1,200円〔日本文学〕

ぼくは万福寺のあととり息子。ほんとうはマンガ家になりたい。去年お父さんを事故で亡くしてから、いいたいことを胸の中にいっぱいためている美雪。ぼくにも何かできることはないか。そうだ！ぼくは、スケッチブックに向かった。

(47) アンティーク・シオンの小さなきせき

茂市久美子 作 黒井健 絵
学研プラス 155P 20cm 1,400円〔日本文学〕

若いサラリーマンの雅治^{まさはる}さんは、連休に行った高原の町でアンティーク・シオンという骨董店^{こつとうてん}を見つけた。店内はうす暗く、お客はいない。店員もおらず黒いネコが、いすの上で丸くなっている。(なんだか別世界に迷いこんだようだ。)

(48) 義足でかがやく

城島充 著
講談社 190P 20cm 1,200円〔義肢製作〕

義肢装具士の臼井^{うすい}二美男^{ふみお}さんのところには、日本中からたくさんの人がたずねてくる。ある日とつぜん病気や事故で足を失った人たちが。臼井^{うすい}さんは患者^{かんじや}さんのために、痛みや不安に寄りそう気持ちをたいせつにし、義足をつくりつづける。

(49) ぐるぐるの図書室

工藤純子 廣嶋玲子 濱野京子 菅野雪虫 まはら三桃 著
講談社 234P 20cm 1,400円〔日本文学〕

五年生のあたしは憧れ^{あこが}の走也^{そうや}くん^{わた}にプレゼントを渡し損ね、また後悔^{ごうかい}。『後戻りしたくてしょうがない人は、放課後、図書室に来てください。』の貼り紙^{かみ}が目^{がみ}に。図書室に思わず入るとそこには、髪^{かみ}の長い女の人が。こんな先生、いたっけ？

(50) ケンガイにっ！

高森美由紀 作 加藤休ミ 絵
フレーベル館 224P 20cm 1,400円〔日本文学〕

弟が死んでからばらばらのオレの家族。ネットゲームの中では、オレは勇者^{けんがい}でちゃんと居場所があるんだ。五年生の夏休みの間、オレは、スマホが圏外^{けんがい}のいなかのばあちゃんちへ送りこまれた。ケンガイなんてありえねえよ。ここは日本か。

(51) 五七五の夏

万乃華れん 作 黒須高嶺 絵
文研出版 168P 22cm 1,300円〔日本文学〕

八百屋^{やおや}の父ちゃんと母ちゃんは、川柳^{せんりゅう}が好き。夫婦^{ふうふ}川柳コンテストで最優秀賞^{さいゆうしゅうしょう}を取った。そのことをきっかけに、六年一組^{とくべつごうし}へ川柳の特別講師としてやってきた。お題は「手」。となりの千夏^{ちなつ}の手を見ても、思いつかない。どうすりゃいいんだ。

(52) セカイヲカエル

嘉成晴香 作 小倉マユコ 絵
朝日学生新聞社 213P 22cm 1,200円〔日本文学〕

六年生になるとき転校した彩人は、新しい学校で違和感を感じた。一方、おきななじみの蓮司は、受験勉強や同じクラスの遠藤にイライラしていた。久々にお互いメールや電話をするが、返事がない。彩人は20年前にタイムスリップしていたのだ。

(53) 旅のお供はしゃれこうべ

泉田もと 作
岩崎書店 168P 20cm 1,300円〔日本文学〕

「名は惣一郎。古物商のひとり息子でございます」父からの頼まれごとで旅に出たところ奉公人には裏切られ、崖から転げ落ちるわで……。「おい、大丈夫か」声の方を見ると人間の頭がい骨、しゃれこうべが顎の骨をカタカタ鳴らしていた。

(54) ぼくたちのリアル

戸森しるこ 著 佐藤真紀子 絵
講談社 222P 20cm 1,300円〔日本文学〕

五年のクラスがえであいつとおなじクラスになった。秋山璃在。学年イチの人気者。ナンバーワンでオンリーワン。ぼくのおきななじみでもある。リアルは太陽に似てるんだ。地味キャラのぼくにとっては、すこしまぶしすぎる存在だった。

(55) ぼくのなかのほんとう

パトリシア・マクラ克蘭 作 若林千鶴 訳 たるいしまこ 絵
リーブル 163P 21cm 1,300円〔外国文学〕

ぼくの名前はロバート。ひとりっ子だ。両親は音楽家。ぼくを残して2か月もの間、演奏旅行に行ってしまう。一番の親友、犬のエリーとおばあちゃんの家に来たのだけれど、夜ベッドで、ふいに、なにかがたりない気がした。なんだろう？

(56) 「水辺の楽校」の所くん

本田有明 著
PHP研究所 165P 20cm 1,300円〔日本文学〕

五年生で、ぼくのとなりは体の大きな所くんになった。話し方はのんびりで、数字を見たら眠くなるし、いびきもかく。そのうえ障害物競争では一人だけ網の中でもがいていた。でも、「水辺の楽校」では、ぼくが知らないことを教えてくれるんだ。

(57) もしも地球がひとつのリンゴだったら

デビッド・J.スミス 文 スティーブ・アダムス 絵 千葉茂樹 訳
小峰書店 39P 26×26cm 1,500円〔縮尺〕

太陽系の惑星^{けい わくせい}をボールの大きさにちぢめたら……水星^{たつきゅう}は卓球のボール。地球は野球ボール。45億年の地球の歴史を1年間にちぢめたら……大晦日^{おおみそか}ちかくに人類登場。「大きな」ものをわかりやすいサイズにちぢめると、ちがって見えるはず。

(58) 弓を引く少年

大塚菜生 著
国土社 166P 20cm 1,300円〔日本文学〕

母を交通事故で亡くした六年生^{げん}の弦には、『ハルオジ』というおじさんがいる。「おまえに、また乗ってもらおうと思ってね」と黒い馬の写真をおいていった。弦は馬に乗るのをやめて二年近くになる。「馬なんか、もう興味ない」と思ったが……。

A I B O

(59) よみがえれアイボ ロボット犬の命をつなげ

今西乃子 著 浜田一男 写真
金の星社 150P 22cm 1,400円〔ロボット〕

ロボット犬アイボ専用の修理センターである「アイボクリニック」が閉院した。それはすべてのアイボにとって「死」を意味する。アイボはオーナーにとって家族の一員。アイボにも心があると信じる人たちの^{ため}、修理に全力を尽くす人がいる。

(60) リトル・ダンサー

田村理江 作 君野可代子 絵
国土社 200P 22cm 1,400円〔日本文学〕

母さんのバレエの体験レッスンにつき合いとなり町へ。四年生にもなって親といっしょの姿^{すがた}を見られたらはずかしい。「英太^{えいた}もやってみる？」じょうだんだろ。母さんを待っていると、「今日から？」ニカッと笑いかける男の子が。「ぼく、五年^{わらきげん}の笑木現」

くれない

(66) 紅のトキの空

ジル・ルイス 作 さくまゆみこ 訳
評論社 272P 21cm 1,600円〔外国文学〕

12歳のスカーレットは、病気の母さんと弟を一人で世話している。家族をばらばらにされたくないから。ある日アパートが火事になり、里親に預けられたスカーレット。弟には私がいなくちゃだめなのに、居場所さえ教えてもらえない。

(67) 小やぎのかんむり

市川朔久子 著
講談社 252P 20cm 1,400円〔日本文学〕

中3の夏休み、学校の掲示板で見たサマーステイに申し込んだ夏芽^{なつめ}。電車を乗り継ぎ小さなバスに揺られてやっと着いたら——え？参加者は一人だけ？でも不安を振り払い、小さなお寺で過ごすことにした。家には帰りたくなかったのだ。

(68) スピニー通りの秘密の絵

ローラ・マークス・フィッツジェラルド 著 千葉茂樹 訳
あすなろ書房 294P 20cm 1,500円〔外国文学〕

ニューヨークに住む13歳の少女セオ。美術館警備員の祖父は「卵の下を探すんだ」という言葉を^{のこ}遺して亡くなる。祖父がアトリエに^{かく}隠していた聖母子像^{せいぼしぞう}の絵。これは誰の絵？どこで手に入れたの？セオは友人ポーディとともに謎^{なぞ}の解明に乗り出した。

(69) セカイの空がみえるまち

工藤純子 著
講談社 239P 20cm 1,300円〔日本文学〕

新大久保^{しんおおくぼ}のコリアンタウンには、いろんな国の人が住んでいる。笑い声、怒鳴り声、あふれる活気、そしてヘイトスピーチ……。失踪した父を案^{しっそう}じる中2の空良は、クラスメイトで野球部の翔^{かける}がこの町で一人で暮らしていることを知る。

(70) 翼もつ者

みおちづる 作 川浦良枝 絵
新日本出版社 222P 20cm 1,800円〔日本文学〕

大戦争から300年を、人々は地下で生き抜いた。荒れ地で貧しく生きるノニは、翼をもつことを夢見ている。旧時代、人間には翼があり、空を自由に飛んだという。しかし彼の国では、翼人^{よくしん}は戦争を引き起こした悪者であるとされていた。

(71) テオの「ありがとう」ノート

クロディーヌ・ル・グイック=プリエト 著 坂田雪子 訳
PHP研究所 220P 20cm 1,400円〔外国文学〕

テオは生まれつき両足と左手が不自由な12歳の男の子。人にものを頼むたびに「ありがとう」を期待されることにうんざりしていた。ある日、テオは「ありがとう」「すみません」を言わないと決めたが……。

はゆまのすず

(72) 駅鈴

久保田香里 作 坂本ヒメミ 画
くもん出版 352P 20cm 1,600円〔日本文学〕

時は^{てんびょう}天平、^{おうみのくに}近江国。使者をもてなし馬を世話する^{うまや}駅家の一人娘^{こざと}小里は、父のような一人前の^{うまやのこ}駅子になることを夢見て日々働いていた。「女でも^{あんとと}跡取りになってみせる」と^{ふんどつ}奮闘していたある日、大切な馬たちを盗まれてしまい……。

(73) モンスーンの贈りもの

ミタリ・パーキンス 作 永瀬比奈 訳
鈴木出版 318P 20cm 1,600円〔外国文学〕

ジャズは勉強もスポーツも得意だけど、大柄なことに劣等感を抱いていた。憧れのステイブに女の子としてみられたい。小柄できゃしゃならよかったのに。でもインドでは大きくて美しいって言われるんだ。みんな、からかってるの？

(74) 夜間中学へようこそ

山本悦子 作
岩崎書店 248P 20cm 1,500円〔日本文学〕

夜間中学に通い始めた76歳のおばあちゃんが^{けが}怪我をした。付き添うことになった孫の^{ゆうな}優菜は、フィリピン人のカルロスや不登校だった^{かずま}和真、お好み焼き屋さんで働^みく美織さんたちと出会う。そこには、優菜の知らない世界があった。

(75) レイさんといた夏

安田夏菜 著
講談社 239P 20cm 1,400円〔日本文学〕

中1の夏休み。前の学校での苦い思い出を引きずって兵庫県西宮市に引っ越した私の部屋に、レイさんは現れた。黒いジャージに茶色い^{かみ}髪。自分が誰だか思い出せなくて^{しょうぶつ}成仏できないのだと言う。私は彼女の身元探しに協力するはめに――。

選 定 委 員

岡 澤	有 紀	(瓦 木 幼 稚 園)
黒 長	賀 恵	(用 海 幼 稚 園)
小 河 内	めぐみ	(高 須 西 幼 稚 園)
藤 川	優 子	(教 育 支 援 課)
木 村	晶 子	(元・段上西小学校)
小 林	陽 子	(鳴 尾 小 学 校)
小 丸	麻 里	(安 井 小 学 校)
近 藤	真由美	(上ヶ原南小学校)
塩 野	恵 子	(北 夙 川 小 学 校)
芝 元	舞	(小 松 小 学 校)
菅 谷	旬美子	(上甲子園小学校)
田 中	恭 子	(夙 川 小 学 校)
増 田	千 勢	(広 田 小 学 校)
松 下	景 子	(安 井 小 学 校)
山 本	有 紀	(香 櫨 園 小 学 校)
上 田	綾 子	(今 津 中 学 校)
坂 本	文 枝	(山 口 中 学 校)
高 田	直 子	(鳴 尾 中 学 校)
谷 本	祥 江	(浜 脇 中 学 校)
西 本	正 吉	(鳴 尾 南 中 学 校)
榊 岡	みゆき	(苦 楽 園 中 学 校)
若 松	千 春	(上甲子園中学校)
大 森	陽 子	(中 央 図 書 館)
西 尾	美 和	(中 央 図 書 館)
橋 本	敦 子	(中 央 図 書 館)
堀 田	かよこ	(中 央 図 書 館)
牧 山	由 里	(中 央 図 書 館)
松 本	眞 樹	(中 央 図 書 館)

